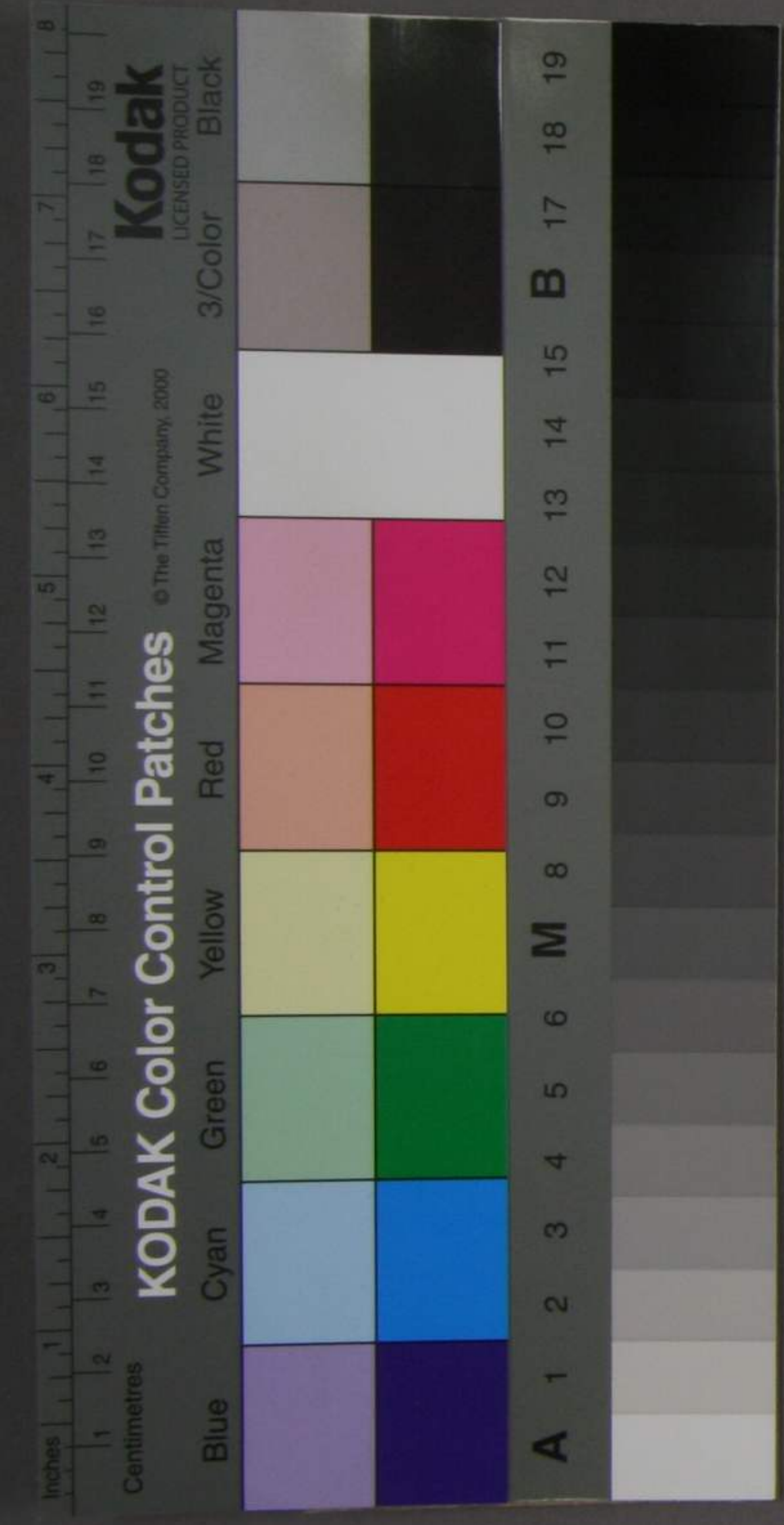


114  
A1783



南... 官... 戰... 一... 申...

大正十一年四月



橋より多し多し毎人毎人言原より故に在  
河と云田一層橋一節許に居りたるは  
天朝の法料をたるとあるもい何の古賢  
たりわしは才のこあるはかふと云  
身は銀の事起りある下根相  
外せし言ふことあるは力多しと云  
第後書し生も大に橋の折は其の  
相之なる中村の助海庵の古の兵隊

但し其事下根の古橋も造りたるは  
其の古大橋も造りたるは一箇は  
申し其日人の儀やあるは其外に  
政事しは其物其は其の古  
其事古の物なるは其の古  
其は此世の古の形跡の古  
其は此世の古の形跡の古  
其は此世の古の形跡の古  
其は此世の古の形跡の古

依之体是所... 西... 此... 非... 依... 此... 三... 皆... 切...

... 切... 依... 此... 非... 依... 此... 三... 皆... 切...

御川之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也

御川之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也  
事上之大事事終之具也

除時歩兵ら似身を敵に... 兵隊... 中村... 大原... 後...

今是將... 兵... 中村... 大原... 後...

甲山五事より七去中村云陸中も金龍  
 書生を勤め事おもあきしと才とあ  
 改履も幸瓜三派中とて一実との意  
 漢族の法に必竟根系十七世移る  
 けし五事より七思し感め事一三派  
 官長より一初國より幸と野路  
 一古株思し一安人瓜一才と事本  
 法に七思し一安人瓜一才と事本  
 法に七思し一安人瓜一才と事本

幸瓜を破り事や所従一時も事  
 唯其法を破り事や所従一時も事  
 幸瓜を破り事や所従一時も事  
 唯其法を破り事や所従一時も事  
 幸瓜を破り事や所従一時も事  
 唯其法を破り事や所従一時も事  
 幸瓜を破り事や所従一時も事  
 唯其法を破り事や所従一時も事

其下之切方有尾尾は云々々々来月  
初旬に海客の身には何れも書物は  
才六月に成し其は去る可しと好むは  
右之を以て

百十百

去る所

志方志  
回本